

35年のあゆみ



神奈川県金属プレス工業協同組合



組合創立35周年記念誌

目 次

理事長ご挨拶	3
祝辞	
神奈川県知事 松沢成文	4
伊勢原市長 長塚幾子	5
神奈川県中小企業団体中央会会長 山崎五郎	6
商工中金理事長 江崎格	7
組合35年のあゆみ	8
組合の概要	9
年表	10
目でみるあゆみ	15
配置図	18
案内図	19
代表者紹介	20
組合企業の紹介	22
編集後記	40



組合設立35周年を迎えて

理事長 野 中 敏 幸

当組合は本年設立35周年を迎えました。

これもひとえに、創立以来ご指導とご援助を賜りました神奈川県、神奈川県中小企業団体中央会、伊勢原市始め関係各機関、金融機関、お取引先企業のおかげであり、篤くお礼申し上げる次第であります。

昭和46年神奈川県金属プレス工業会の会員企業を母体として、川崎・横浜等に散在していた金属プレス加工および関連業者が、公害問題の解消と経営近代化合理化等の根本的解決を図るとともに、集団化事業実施を計画し、組合を設立いたしました。

ちょうどこの時期、伊勢原市で工業団地の建設が計画推進されており、総面積64万平方米の神奈川県内陸伊勢原工業団地の一画72,231平方米の分譲を受けて、神奈川県の高高度化事業として、県当局ならびに中小企業事業団等による、計画から建設・運営にご指導を賜わり、4期にわたる工事を経て、昭和51年3月全組合員の進出が完了しました。

昭和54年には、工業用地4,568平方米を新規購入し、補完事業として組合員工場3棟を新築し、新規加入1社が加わり、現在にいたっております。

設立当初は組合員各企業の発展を目標に、操業環境を整え、共同設備管理事業・金融事業・給食事業等を中心に、組合運営を推進してまいりました。

平成2年4月には高度化・協調融資資金の返済完了し、組合員使用の所有権名義への変更を実施しました。

バブル以降の長期不況の影響で、組合員の倒産・廃業も数件ありましたが設立趣旨の同業種組合を継承し、製造業者に新規組合加入いただき現在組合員17社で運営しております。

今後の組合運営については、組合員相互の団結親睦を図り、教育情報に重心を置き、研修視察を今後も継続し、各種研修会を充実させて実施していきたいと思っております。

操業環境整備・環境美化も重要課題であり、諸事業（福利厚生事業・駐車場確保・高速多頻度割引制度利用等）と併せて組合の求心力を維持して、組合員各社の発展に寄与していきたいと願っております。

今後とも皆様の旧にもましてご指導とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げ、ご挨拶のことばとさせていただきます。



神奈川県知事 松 沢 成 文

神奈川県金属プレス工業協同組合が創立35周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。皆様の協同組合は、住工混在地域における公害問題の解消と経営の近代化・合理化を目指し、昭和46年、本県で2番目となる中小企業高度化事業の適用を受け、設立されました。その直後、ドルショックと石油危機に見舞われるという厳しい経済環境の中にあつて、組合員各社の団結と熱意のもと、昭和51年には、伊勢原工業団地内における集団化事業を完了され、近代的な高度化団地として操業を開始されました。

以来、今日に至るまで、金属加工技術の向上や経営の安定化に努められ、本県における金属プレス業界の中核として、業界並びに地域産業の振興と本県経済の発展に大きな役割を果たしてこられました。歴代の理事長をはじめ、組合員の皆様の長年にわたるご尽力に深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

県といたしましても、地域経済の活性化を県政の最重要課題と位置付け、産業集積促進方策「インベスト神奈川」による県内への企業誘致を強力に進めており、これまでに、世界トップレベルの企業から中小企業に至るまで、多数の企業が県内への投資を決定していただいております。そして、「インベスト神奈川」により本県に立地集積した企業と、技術開発に対する強い意欲を持つ県内中小企業が技術連携をすることで、高付加価値型産業の創出を目指す「神奈川R&Dネットワーク構想」も積極的に展開しているところです。

金属加工技術は、さまざまな製造業を支える基盤となる技術であり、皆様が培ってこられた高度な技術に対する期待と関心は、今後ますます高くなるものと存じます。皆様におかれましては、この「神奈川R&Dネットワーク構想」をはじめとする県の施策にもご理解とご協力を賜り、さらなる地域経済の活性化にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

最後に、このたびの創立35周年を契機とした神奈川県金属プレス工業協同組合の今後のご発展と、組合員の皆様のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



伊勢原市長 長塚幾子

神奈川県金属プレス工業協同組合が創立35周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。皆様の協同組合は、神奈川県下のプレス工業者が経営の近代化と公害問題の解消等を目的とする工場集団化事業を進めるために、昭和46年6月に設立されました。さらに5年後の昭和51年3月には、組合員全社が当市鈴川地区にある伊勢原工業団地内において操業を開始されました。

以来、歴代の理事長を始め、組合役員、会員企業の皆様方におかれましては、経営の合理化・効率化に努められ、近年においては、多くの会員企業が国際標準ISOの取得に努めておられるなど、時代にあった取り組みとたゆまぬ経営・技術革新をされ、地域経済の発展に多大に貢献していただいております。また、歴史と自然豊かな本市の風土に配慮した、工場環境の改善や地域住民とのつながりを大切にいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

皆様の協同組合が設立された昭和46年は、奇しくも伊勢原市の市制施行と時期を同じくしております。市制施行当時には4万7千人弱であった本市の人口も現在は10万人を超え、自然を大切にしながらも、各工業地域にあっては活発な企業活動が展開されています。

そうした中、金属プレス工業は、工作機械等の進歩に伴い飛躍的に発展されており、自動車工業をはじめ、電気・通信機器、精密機械などあらゆる分野の金属製品の生産に関連するなど、今や日本の各種製造業を支える重要な産業となりました。

現在、本市は、「元気な伊勢原・ふるさとづくり」を市政運営の目標に掲げて、まちづくりを進めております。元気な伊勢原のためには、市民の方々はもとより、市内に立地する多くの企業の皆様方の活発な企業活動・地域活動が不可欠であり、皆様方のご活躍とお力添えがあってはじめて実現できるものです。どうか、これからも地域に根ざした活動を通して「元気な伊勢原・ふるさとづくり」にご協力いただきますようお願い申し上げます。

この35周年を一つの節目として、神奈川県金属プレス工業協同組合のますますのご発展と会員企業の皆様方のご繁栄を心よりお祈りし、お祝いのことばとさせていただきます。



神奈川県中小企業団体中央会
会長 山崎 五郎

神奈川県金属プレス工業協同組合の創立35周年、誠におめでとうございます。県下の中小企業団体を代表し、心からお祝い申し上げます。

貴組合が設立された昭和46年当時は、わが国経済も神奈川県も正に拡大成長期でありました。同時に「公害」という言葉が生まれ、企業の立地環境に関する制約も大きくなった時期でもあります。

こうした経営環境の変化に対応するため、神奈川県金属プレス工業会の会員企業を母体として、市街地からの企業適地への移転による経営の近代化・高度化を図るべく、伊勢原工業団地への進出を果たされました。正に先見の明ここに如かずの感あり、深く敬意を表する次第であります。

以来35年、幾多の経済環境の変動期においても、組合員の英知を結集し、環境変化に即応した各種の事業を積極的かつ効果的に実施され、大きな成果を上げてこられました。特に、ものづくりの現場をサポートすべく、組合員の技術・技能のレベルアップへの意欲的取り組みは、県下組合の範と言えます。

わが国製造業の強みは、中小企業が地道に開拓してきた、優れた「ものづくりの基盤技術」にほかなりません。今、改めて日本を支えるベーシックインダストリーの重要さが見直され、国の施策としても光が当てられてきております。

最近のわが国経済はようやく明るさを感じるものの、社会全体の閉塞感と危機感はいまだ強いものがあり、こうした中で、急速な技術革新や市場経済のグローバル化等々、経営環境はめまぐるしく変化しております。

我々中小企業は否応なしにこうした変化に対応して経営革新を進めていくことが肝要であります。確固たる技術力を基本に、創意と活力を身に付け、企業体質を強化し新しい活動分野を切り拓いていくことが、今まさに求められております。

しかしながら、中小企業にとっては内部の経営資源だけでこの厳しい環境変化に的確に対処していくことは困難であり、貴組合が共同事業を通じて果たされる役割は、より一層その重要性が増すものと思われまます。組合員相互の研鑽と交流のもと、組合員の持てる「ものづくり魂」をいっそう発揮され、更なるステップを目指して邁進されることをご期待申し上げます。

終わりに、輝かしい歴史と伝統ある神奈川県金属プレス工業協同組合のますますのご発展と、組合員皆様のご繁栄、ご健勝を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



商工中金 理事長 江 崎 格

このたび、神奈川県金属プレス工業協同組合が、記念すべき創立35周年を迎えられるにあたり、心からお祝い申し上げます。

皆様方におかれましては、私ども商工中金に対しまして、常日頃から格別のご支援、ご高配を賜わり厚く御礼を申し上げます。

貴組合は、神奈川県金属プレス工業会の会員企業を母体として、川崎・横浜などに散在していた金属プレス加工および関連業者が、公害問題の解消と経営近代化合理化を図るべく集団化事業実施を計画し昭和46年6月に設立され、昭和51年3月には組合員全社の団地内での操業が開始されたのであります。

設立以来35年、オイルショックやバブル以降の長期不況等経済情勢も激変いたしました。幾多の難関を見事に克服し、優良団地組合として組合員の方々共々大きく成長され、地域経済社会に多大の貢献をされてこられました。これもひとえに野中理事長を始め組合員の皆様方のご熱意とたゆまぬご努力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。

さて、わが国経済をみますと、堅調な輸出と好調な設備投資に支えられて、生産は緩やかな増加基調を辿っております。これらを受けて、所得環境も好転し、つれて個人消費も改善基調にあります。物価が緩やかに上昇するなか、景気は回復が続いています。

こうした中、わが国経済がより着実に成長・発展していくためには、中小企業の皆様方が持ち前の機動力や創造性を遺憾なく発揮され、経済活性化と雇用創出の原動力となってさらに飛躍されることが必要不可欠でございます。

特に、組合を中心とした連携組織は、経営資源の相互補完を図るための組織として改めてその役割が再認識されております。

貴組合におかれましては、今日迄の35年の永きに亘る輝かしい成果を踏まえ、協同組合の真価を遺憾なく発揮され、新しい時代を乗り切っていかれませう、心からご期待申し上げます。次第であります。

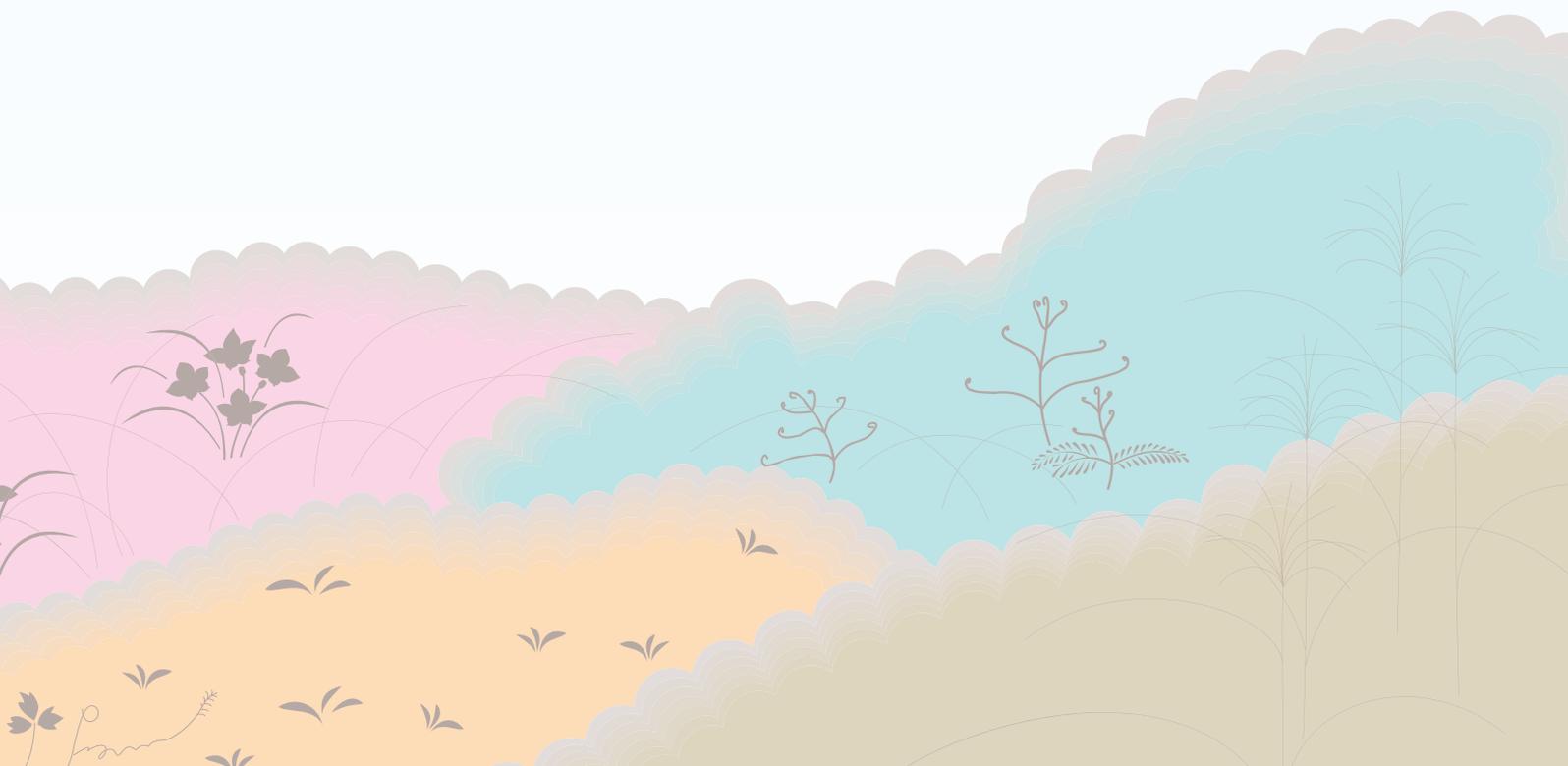
商工中金といたしましても中小企業専門の政策金融機関として、中小企業の皆様方が挑戦する「創業・革新・再生」を様々な金融手法でご支援いたすべく、全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

なお、政策金融改革の一環として、私ども商工中金は、平成20年10月から新体制へ移行し、その後概ね5~7年を目途とする移行期を経て、「完全民営化」を目指すこととなりました。今後におきましても、中小企業組合と中小企業の持続的成長を支援するというこれまでの姿勢を堅持し、商工中金の機能を維持しつつ、より高度で幅広い金融サービスの提供を行うよう全力で取り組んでまいり所存でございます。なにとぞ、格別のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴組合が記念すべき35周年を契機として、今後さらに一段と発展されますとともに、組合員の皆様方の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



組合
35年のあゆみ



組合の概要

所在地	神奈川県伊勢原市鈴川5番地 電話 0463(94)6492 FAX 0463(92)3389
設立年月日	昭和46年6月18日
組合員数	17社
出資金	2,000万円
組合員業種	精密プレス板金加工、精密金型設計製作、精密プラスチック成型加工、各種自動化装置、産業機械装置、環境装置、半導体機器、硬貨計算機、遊技機関連装置・機器、スーパーマーケット用具等の製作、金属塗装他
組合設備	組合管理センター 敷地1,371㎡(建物1階は事務所賃貸) 共同シャーリング工場 敷地 494㎡(現在、三光工業(株)に賃貸)
設立の経緯	神奈川県金属プレス工業会の会員企業を母体として、川崎市・横浜市等に散在していた金属プレス加工業者および関連業者が、住工混在地域における公害問題の解消と経営の近代化合理化を図るべく集団化事業の実施を計画し、昭和46年6月組合設立、諸官庁、金融機関の指導を受け、昭和48年から伊勢原工業団地に団地建設に着手、昭和51年3月全社の進出が完了した。
団地内従業員数	948名(当団地内)
組合役員	理事長 野中敏幸 成幸工業(株)会長 副理事長 大泉政治 (株)オーイズミ社長 副理事長 内山俊樹 (株)竹内型材研究所社長 副理事長 島軒鐸朗 (株)清富士社長 理事 濱田一男 型研精工(株)社長 理事 進士剛廣 (株)進士製作所社長 理事 本橋一樹 (株)本橋製作所社長 監事 荒巻芳幸 (株)山王社長 監事 松井紘彦 桐栄工業(株)社長
共同事業	賃貸事業 会館・工場・駐車場の運営管理 共同購買事業 収入印紙、切手、消耗品、嗜好品、バスカード等の販売 警備事業 夜間休日の団地内警備 環境整備事業 産業廃棄物の処理、団地内清掃・除草・剪定、健康診断・環境測定の実施 教育情報事業 新入社員研修会、各種講習会、研修視察等 高速多頻度割引制度の事務取扱い 福利厚生事業 各機関の代理店・取次ぎ業務等 伊勢原工業団地との協賛による行事開催等

年 度	組合の動き		国内・国際間の動き	
昭和43年	4月	神奈川県金属プレス工業会結成。	12月	3億円事件発生。
昭和44年	6月	当組合小林初代理事長（当時県プレス工業会会長）が第3次近促研修会に出席。	1月	ニクソン大統領就任
	9月	近促協議会にて神奈川県とプレス工業会が集団化を協議。	5月	東名高速道路全線開通。 八幡製鉄・富士製鉄合併。 初の公害白書。
	10月	造成中の伊勢原工業団地内に高度化団地を計画。		
昭和45年	4月	集団化計画参加募集。	3月	万博開催。
	4月	神奈川県下のプレス業者に高度化参加の呼びかけを行う。	8月	いざなぎ景気終わる。
	6月	秋山事務局長就任。		
	11月	伊勢原工業団地に分譲申込み。		
昭和46年	2月	22社による設立総会開催。	6月	沖縄返還協定調印。
	5月	組合設立認可。	8月	為替変動相場制採用。 米国ドル防衛策を発表（ドルショック）。
	5月	集団化実施計画書類提出。		
	6月	当組合設立。	10月	輸出関連中小企業緊急融資制度実施。 中国国連加盟。
	8月	中小企業事業団による計画診断。		
昭和47年	3月	土地分譲契約締結。	1月	グアム島で元軍人発見。
	4月	3工場団地視察。	5月	沖縄本土復帰。
	6月	個別診断実施。 金融事業開始。	7月	田中内閣成立。
	7月	組合診断実施。 伊勢原工業団地(協)加入。	9月	日中国交正常化成る。 日台国交断絶。
昭和48年	1月	第1期建設工事着工。	1月	ベトナム戦争終結。
	3月	同上完成。	2月	円の変動相場制移行。
	5月	共同住宅賃貸契約締結。	4月	貿易自由化100%決定。
	6月	共同給食開始。	8月	金大中事件。
	10月	起工式。 第2期建設工事着工。	10月	第1次石油危機発生。
			11月	狂乱物価、異常インフレ起こる。
昭和49年	5月	第2期建設工事完成。	8月	フォード大統領就任。
	6月	第3期建設工事着工。 14社操業開始。	12月	三木内閣成立。 雇用保険法成立。 この年戦後初のマイナス成長。
昭和50年	1月	第3期建設工事完成。 5社操業開始。	7月	沖縄海洋博開幕。
	7月	共同シャーリング加工開始。	8月	興人倒産。
	8月	第4期建設工事着工。	12月	倒産件数戦後最悪。
昭和51年	3月	第4期建設工事完成。 1社操業開始し全組合員の進出完了。	2月	ロッキード事件広まる。
	4月	購入品の取扱い開始。 産業廃棄物の処理始める。	7月	田中首相逮捕。
	7月	運営診断。	11月	カーター大統領就任。
			12月	福田内閣成立。 倒産件数以前高水準。
昭和52年	4月	神奈川県民共済、同火災共済代理業務開始。 全国工業団地連合会加入。	5月	領海12カイリ法、漁業水域200カイリ暫定措置法成立。
	5月	大新産業(株)神奈川県優良工場表彰。	9月	円高融資制度発足。 王貞治756号ホームラン。

年 度	組合の動き		国内・国際間の動き	
昭和53年	11月	補完事業診断。 (株)オーイズミ中小企業長官賞受賞。 成幸工業(株)神奈川県優良工場表彰。	5月 8月 10月 12月	成田空港運営開始。 日中友好平和条約調印。 円高180円を割り、反転。 大平内閣成立。
昭和54年	1月 3月 5月 9月 12月	隣接用地購入。 型研精工(株)組合加入。 補完事業建設工事着工。 (株)オーイズミ内閣総理大臣賞受賞。 補完事業建設工事完成。	1月 8月	米中国交樹立。 東京サミット開催。 公定歩合相次いで引き上げられ、当初3.5%から翌年3月には9%まで上昇。
昭和55年	2月 3月 10月	(有)信和製作所組合脱退。 (株)竹内型材研究所組合加入。 桐栄工業(株)中小企業長官賞受賞。	6月 7月 9月 12月	衆参同時選挙。 鈴木内閣成立。 イランイラク戦争起る。 年間倒産件数18,000件と新記録。
昭和56年	2月 10月	京浜地区協同組合連合会に加入。 中小企業団の啓蒙用映画制作に当組合が対象となり、フジテレビにより放映。	1月 3月 5月	レーガン大統領就任。 神戸ポートピア開幕。 乗用車の対米輸出自主規制合意。
昭和57年	5月 9月 10月	小林理事長黄綬褒章受賞。 鋼板技研(株)組合脱退。 寿工業所組合脱退。 (株)オーイズミ内閣総理大臣賞受賞。	4月 6月 9月 11月	フォークランド諸島事件。 東北新幹線開通。 政府財政非常事態宣言。 中曽根内閣成立。 上越新幹線開通。
昭和58年	3月 4月 5月 10月 11月	秋山事務局長退任。 中村事務局長就任。 山王鍍金(株)組合加入。 山王鍍金(株)荒巻社長黄綬褒章受賞。 (株)オーイズミ神奈川県優良工場表彰。 神奈川県優良組合表彰。	4月 5月	中小企業事業承継税制創設。 日本海中部地震起きる。
昭和59年	4月 10月 11月	ゴルフ部会発足。 (株)オーイズミ中小企業長官賞受賞。 高速道路料金別納制度取扱開始。 (株)オリイ神奈川県工業技術開発大賞受賞。 三光工業(株)神奈川県優良工場表彰。	7月 11月 12月	リッカーミシン倒産。 新紙幣発行。 ニューメディア時代に入る。
昭和60年	10月 11月 12月	(株)オリイ中小企業長官賞受賞。 型研精工(株)神奈川県工業技術開発大賞受賞。 型研精工(株)神奈川県優良工場表彰。 食堂調理室増設。	3月 4月 5月 9月	筑波科学博開幕。 NTT、日本たばこ産業発足。 日航ジャンボ機墜落。 三光汽船倒産。 G5ドル高是正協調介入で合意、円高の契機となる。
昭和61年	2月 3月 5月	「土地建物の所有名義をめぐる諸問題」の研修会開催。 組合設立15周年行事の開催決定。 中小企業事業団優良組合表彰。 桐栄工業(株)山口社長神奈川県民功労賞受賞。	4月 4月 5月 12月	燃糸工連事件発生 前川レポート発表 東京サミット開催 国鉄分割・民営化法案成立 円高、金融緩和と政策実施（公定歩合引下げ） 企業海外進出のため、国内空洞化はじまる。

年 度	組合の動き		国内・国際間の動き	
昭和62年			2月 4月 10月	N T T株上場 新生J Rスタート 株価世界的大暴落（ブラックマンデー） 竹下内閣発足
昭和63年	4月 6月	ガス漏れ配管取替工事实施。 消化栓配管水漏れ取替工事实施。	1月 2月 4月	土地路線価首都圏で50%上昇。 青函トンネル開業。 瀬戸大橋開通。 リクルート事件 大韓航空機爆破事件
昭和64年 平成元年		地下水排水設備補修工事实施。 シャーリング工場電気設備工事实施。	1月 4月 8月 8月	昭和天皇崩御 消費税施行 天安門事件 海部内閣発足
平成2年	4月 4月	高度化・協調融資償還完了。 組合員使用土地建物名義変更実施。	1月 月	ソ連崩壊 オウム真理教一斉捜査 バブル崩壊、株価下落
平成3年	5月 5月	中村事務局長退職 肥後事務局長就任	1月 6月 9月 11月	湾岸戦争勃発。 雲仙普賢岳大規模火砕流発生。 スペースシャトルコロニア打上げ。 宮沢内閣成立
平成4年	4月	「労働時間短縮をめぐる諸問題」研修会開催。 屋外消化栓ポンプ室修理実施。	1月 5月 7月	大学入試センター試験開始。 太陽神戸三井銀行がさくら銀行に改称。 P K O協力法公布。 釧路沖地震（マグニチュード7.5）
平成5年		下水道本管の補修及び清掃実施。	8月	日本新党細川連立内閣発足 土井たか子衆議院議長（女性初） レインボーブリッジ開通。
平成6年		組合会館水道漏水のため改修工事实施。 屋外消化栓漏水のため改修工事实施。	5月 6月 9月 9月	英仏海峡トンネル開通。 製造物責任法（P L法）成立。 村山内閣連立内閣成立。 関西国際空港開港。
平成7年		三光工業(株)神奈川県技術開発大賞受賞 中小企業事業団労務改善事業の県の指定を受け 時短問題の研修・実態調査実施。	1月 3月	世界貿易機構（W T O）発足。 阪神・淡路大震災発生。 地下鉄サリン事件。
平成8年	7月 7月	安全衛生促進事業実施。 団地リフレッシュ事業実施。	1月 4月 12月	橋本内閣成立。 東京三菱銀行発足。 ペルー日本大使館事件発生。
平成9年	3月 11月 12月	(社)神奈川県中小企業労務改善集団連合会脱退。 「小型焼却炉の公害防止対策」研修会開催。 全国工場団地協同組合連合会脱退。	4月 11月 11月 12月	消費税率引き上げ（3%から5%） 北海道拓殖銀行破綻。 山一証券破綻。 地球温暖化防止会議、京都議定書採択。

年 度	組合の動き		国内・国際間の動き	
平成10年	5月 7月 8月 9月 10月 11月	野中理事長就任。 サニー工業(株)組合加入 川崎金属工業(株)組合脱退。 肥後事務局長退職 小泉事務局長就任 共同給食事業中止。(葉隠勇進(株)撤退。)	2月 4月 6月 7月 10月	長野オリンピック開幕。 明石海峡大橋開通。 金融監督庁発足。 小渕内閣成立。 日本長期信用銀行国有化。 貸し渋り・貸しはがし横行。
平成11年	4月 7月 9月 11月	金プレゴルフ会を鈴川会(団地組合)と共催に変更。 ミツイ精密(株)組合加入。 1階食堂再開(小田原給食「つくしんぼう」)。 伊勢原市主催「大山クリーンキャンペーン」参加。	2月 12月	日銀ゼロ金利政策開始。 新中小企業基本法成立。 東邦生命保険破綻。
平成12年	2月 4月 8月 10月 12月	伊勢原市と「中央道路に関する検討委員会」開催。 「新入社員研修セミナー」単独開催。 (従来は団地組合との共催で実施。) 「中央道路」問題アンケート実施。 伊勢原市に「中央道路寄付の要望書」提出。 中央道路に関する検討委員会設置。 (株)オーイズミ店頭登録。 屋外消化栓のパッケージ型屋内消化栓への代替を消防署承認。 三光工業(株)科学技術庁長官賞受賞。	3月 4月 7月 7月 10月	地下鉄日々谷線脱線事故 森内閣成立。 そごう倒産。 九州沖縄サミット開催。 千代田生命破綻。 空洞化、消費不振続く。
平成13年	2月 5月 8月 9月 12月 1月	研修視察会(型研精工(株)大分工場)実施。 パソコン導入。 「中央道路」上水道問題の要望書を企業庁に提出。 建築協定締結(伊勢原工業団地と分離。) 共同加工事業委託先(有)二浩商会業務撤退。 警備業務、セコムと直接締結。	4月 4月 9月 10月	三井住友銀行誕生。 小泉内閣成立。 アメリカ同時多発テロ事件。 アメリカ、アフガニスタン侵攻開始。
平成14年	2月 3月 7月 10月 11月	シャーリング工場賃貸開始(三光工業(株)) (株)オーイズミ東証二部上場 事務局高橋退職 ⇒ 斎藤採用 研修視察会(光栄工業(株)東北工場)実施。 伊勢原市に「中央道路寄付の確約書」提出。	1月 1月 4月 9月 8月	UFJ銀行誕生。 雪印牛肉偽装事件。 みずほ銀行誕生。 小泉訪朝(日朝ピョンヤン宣言) 住民基本台帳ネットワーク開始。
平成15年	2月 3月 4月 10月 10月 12月	組合上下水道管配管工事実施。 小泉事務局長退任 西川事務局長就任 伊勢原市に中央道路寄付申出書提出。 光栄工業(株)組合脱退。 (株)オーイズミ旧光栄工業(株)分取得(第三工場)。 (株)コーヨー組合脱退。	3月 3月 6月 7月 12月	感染症SARS世界的に流行 イラク戦争開始。 有事法制成立。 イラク特措法成立。 フセイン大統領拘束。

年度	組合の動き	国内・国際間の動き
平成16年	3月 中央道路の寄付行為完了。 3月 (株)オーイズミ東証一部上場。 5月 研修視察会(井関農機(株)松山工場)実施。 6月 金プレゴルフ会(有志)開催。 8月 小田原給食(つくしんぼう)撤退。 9月 (株)オーイズミ旧(株)コーヨー分取得(第三工場)。 10月 金プレゴルフ会(再開)	1月 明治安田生命誕生。 1月 改正労働基準法施行。 4月 年金未納問題。 4月 消費税改正。(総額表示、免税点引下げ) 10月 新潟県中越地震
平成17年	3月 組合会館1階旧食堂取壊しおよび駐車場増設工事実施。 4月 高速別納制度が大口多頻度割引制度に変更。 6月 中小企業時短促進事業実施。 7月 保養施設「万葉荘」契約。 10月 日進工業(株)と駐車場委託契約締結。 11月 神奈川新聞「業界近況報告」に当組合掲載。 12月 中小企業時短促進事業結果報告提出。(事業終了) 12月 サニー工業(株)から(株)清富士に業務譲渡し、組合脱退。	2月 京都議定書発効 3月 愛知万博(愛・地球博)開催。 4月 ペイオフ完全施行。 4月 個人情報保護法全面施行 4月 J R福知山線脱線事故 9月 総選挙(郵政解散)自民党大勝。 10月 日本道路公団他4公団民営化。
平成18年	1月 桐栄工業(株)神奈川県優良工場表彰。 3月 組合会館1階食堂の改修工事実施。 3月 組合設立35周年行事の開催決定。 5月 組合会館1階賃貸(U K I企画鶴飼氏)開始。 9月 旧消化栓収納スペース撤去決定。	9月 阿倍内閣成立。

教育情報に重心を

県金属プレス工業協同組合

業界近況報告



野中 敏幸
理事長

1971年、神奈川県金属プレス工業会の会員企業を母体として、川崎・横浜などに散在していた金属プレス加工および関連業者が、公害問題の解消と経営近代化合理化を図るべく集団化事業実施を計画し、組合を設立してこの地区に進出してから、はや35年になる。

設立当初は組合員各企業の発展を目標に、操業環境を整え、共同設備管理事業・金融事業・給食事業などを中心に組合運営を推進していた。

バブル以降の長期不況の影響

で、組合員の倒産・廃業も数件あったが、設立趣旨の同業種組合を継承し、製造業者に新規組合加入いただき、現在組合員18社で運営している。

高度化資金返済を完了し、所有権も各組合員名義になり、金融も組合員個別に実施している。

今後の組合運営については、組合員相互の団結親睦を図り、教育情報に重心を置き、研修視察を今後も継続し、各種研修会を充実させて実施していきたい。

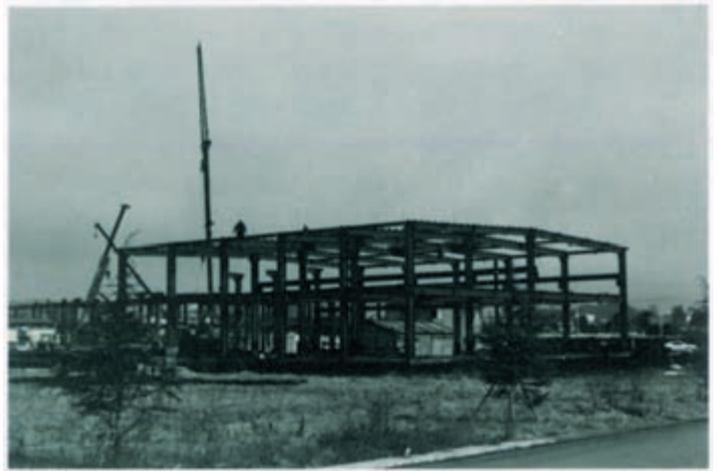
操業環境整備、環境美化も重要課題であり、諸事業(福利厚生事業・駐車場確保・高速多頻度割引制度利用など)と併せて組合の求心力を維持して、組合員各社の発展に寄与していきたい。

◇伊勢原市鈴川5、☎0463(94)6492

目でみるあゆみ



中央道路造成工事



鉄骨組立



コンクリートパイルの打込み



完成に近づく組合員工場



ユニークな組合会館外観



昭和54年度実施の補完事業工事完成後の当工場団地全景



従業員住宅総戸数51戸すべて2DK



シャーリング加工 処理能力 月産200トン



通常総会（第20回）



通常総会（第33回）



海外からの工場見学



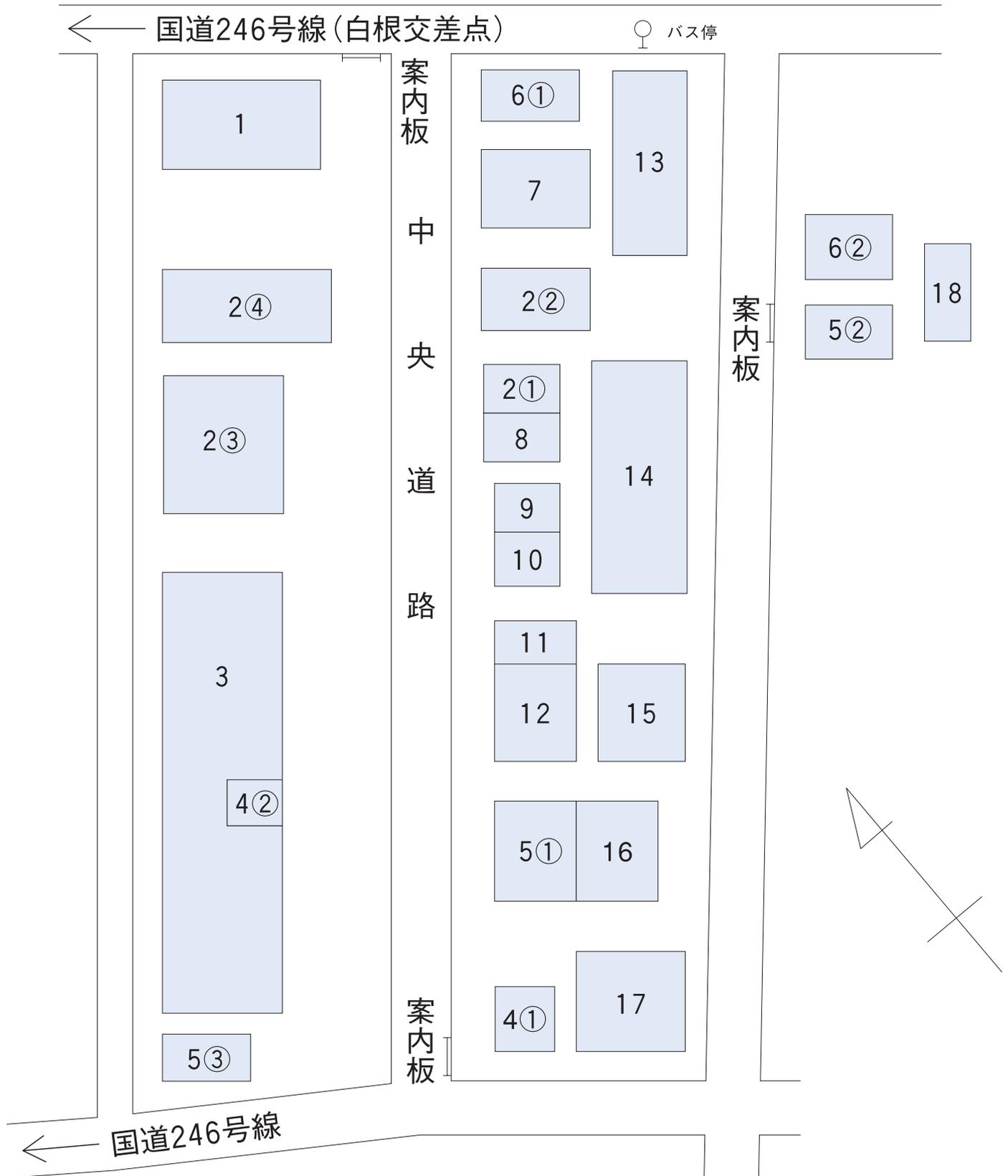
新入社員研修会



大山クリーンキャンペーン



鈴川まつり

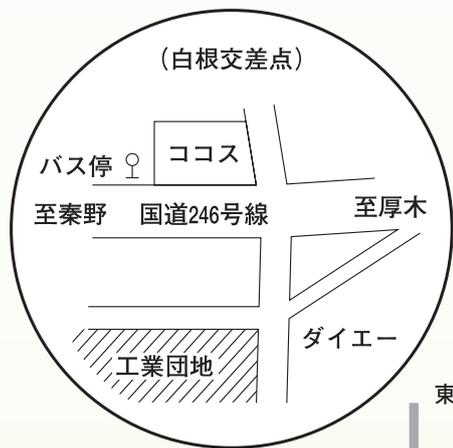


- ① 日進工業(株)
- ② (株)オーイズミ
- ③ 三光工業(株)
- ④ 組合
- ⑤ (株)清富士
- ⑥ 成幸工業(株)

- ⑦ (株)山王
- ⑧ (株)竹内型材研究所
- ⑨ (株)進士製作所
- ⑩ オリイテクノ(株)
- ⑪ 型研精工(株)
- ⑫ (株)ムサシノ精機

- ⑬ (株)横浜機械製作所
- ⑭ オリイメック(株)
- ⑮ 大新産業(株)
- ⑯ 桐栄工業(株)
- ⑰ (株)本橋製作所
- ⑱ ミツイ精密(株)

注. ① ② は第一工場、第二工場を表す。4② は旧シャーリング工場



代/表/者/紹/介/



理事長
成幸工業株式会社
代表取締役 野中敏幸



副理事長
株式会社 オーイズミ
代表取締役 大泉政治



副理事長
株式会社 竹内型材研究所
代表取締役 内山俊樹



副理事長
株式会社 清富士
代表取締役 島軒鐸朗



理事
型研精工株式会社
代表取締役 瀨田一男



理事
株式会社 進士製作所
代表取締役 進士剛廣



理事
株式会社 本橋製作所
代表取締役 本橋一樹



監事
株式会社 山王
代表取締役 荒巻芳幸



監事
桐栄工業株式会社
代表取締役 松井紘彦



オリイテクノ株式会社
代表取締役 川島光雄



オリイメック株式会社
代表取締役 杉本誠夫



三光工業株式会社
代表取締役 中辻和夫



成幸工業株式会社
代表取締役 野中啓孝



大新産業株式会社
代表取締役 岩崎誠司



日進工業株式会社
代表取締役 辛島修治



ミツイ精密株式会社
代表取締役 伊原静一



株式会社 ムサシノ精機
代表取締役 佐藤妙子



株式会社 横浜機械製作所
代表取締役 今村達

組合企業の紹介

スーパーマーケットの総合プラントメーカー
日進工業株式会社

- 代表者 代表取締役 辛 島 修 治
- 所在地 神奈川県伊勢原市鈴川7番地
- 本社工場 神奈川県海老名市門沢橋373番地
電話 046-238-3232
FAX 046-238-6943
E-mail:nshs@nissinkogyokk.co.jp
URL <http://www.nissinkogyokk.co.jp>



- 資本金 50,000,000 円
- 従業員 70名
- 業 種 関連業種 (金属家具製作)
- 主要製品 スーパーマーケット用 冷凍・冷蔵オープンショーケース、陳列ケース、運搬車等の設計製造販売
- 主要設備 プレス、ベンダー、シャー、ターレット・パンチプレス、パイプベンダー、ロボット溶接機、塗装設備等
- 主要取引先 サミットストア(株)、(株)ライフコーポレーション、イオングループ 他
- 取引銀行 みずほ銀行銀座中央支店、三菱東京UFJ銀行厚木支店

- 経 歴 昭和35年11月 スーパーマーケット用什器製造専門会社として設立。
日本初のスチール製陳列ケース、冷凍・冷蔵オープンショーケース等を製造。
昭和46年4月 海老名市門沢橋にて事業開始。
昭和51年3月 神奈川県金属プレス工業協同組合に組み立て工場を移転し、工場等集団化事業に参加。
平成1年8月 海老名市に新钣金工場、塗装工場、組立工場を建築 現在に至る。

- 特 色 業務用 冷凍・冷蔵オープンショーケース、商品陳列用 Gondola (陳列ケース)、省力化機器としてのカート (運搬車) 等を製造・販売している専門メーカーです。さらに、スーパーマーケットのレイアウトや技術的な指導も行うコンサルタントの会社でもあります。



- 商 号 株式会社オーイズミ
- 代表取締役社長 大泉 政治
- 本社所在地 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号
- 電 話 046-297-2111
- F A X 046-297-2118
- ア ド レ ス <http://www.oizumi.co.jp/>
- 資 本 金 1,006,900,000円
- 従 業 員 数 300名
- 業 種 製造業
- 主な事業内容 遊技機関連の装置・機器の製造及び販売
遊技機の製造及び販売
不動産の賃貸及び管理
- 主 要 製 品 両替機、設備機器、スロットマシン



- 昭和43年 8月 神奈川県秦野市菩提140番地において、有限会社大泉製作所をプレス加工業として創業
- 昭和49年 7月 貨幣処理機の製造及び販売を目的として株式会社大泉製作所に組織変更
- 8月 神奈川県伊勢原市鈴川6番地に本社及び工場を移転
- 昭和54年 9月 硬貨計数機で内閣総理大臣賞を受賞
- 昭和57年10月 小型紙幣処理機で内閣総理大臣賞を受賞
- 昭和59年 1月 神奈川県伊勢原市鈴川7番地に本社及び工場を移転
- 昭和61年 2月 商号を株式会社オーイズミに変更
- 平成 4年 3月 株式会社オーイズミダイニングを100%子会社として設立
- 平成10年12月 株式会社ダイシンの株式を取得し、100%子会社とする
- 平成11年 3月 厚木オーイズミビル（現本社ビル）竣工
- 平成12年 1月 東京本部ビルを取得
- 10月 社団法人日本証券業協会に店頭登録銘柄として上場
- 平成13年 9月 日本電動式遊技機工業協同組合へ加入
- 10月 神奈川県厚木市岡田に厚木テクニカルセンターを開設
- 平成14年 3月 株式会社東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 6月 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号に本社を移転
- 平成15年10月 神奈川県伊勢原市鈴川に第三工場を取得
- 平成16年 3月 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定される
- 9月 神奈川県伊勢原市鈴川に第四工場を取得
- 12月 株式会社オーイズミ都市開発の株式を取得し、100%子会社とする
- 平成17年 3月 株式会社インプレスデザインの株式を取得し、100%子会社とする



市 場 東京証券取引所市場第一部
 主要取引銀行 三菱東京UFJ銀行 商工組合中央金庫 横浜銀行 みずほ銀行 三井住友銀行

- 特 色 当社は、「創造的な仕事を行い多くの人に愛される企業でありたい」という経営理念のもと遊技場設備機器事業を中核事業として顧客ニーズを先取りした独創的なアイデアと先端技術を取り入れた製品を市場に提供することによりアミューズメント産業の健全な発展に寄与しております。



三光工業株式会社

■所在地 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川5番地
TEL 0463-91-2222 FAX 0463-93-3170
E-MAIL snk89@fa2.so-net.ne.jp

■資本金 50,000,000円

■従業員 112名

■業種 精密板金プレス並びに組立

■代表者 代表取締役 中辻 和夫

■主要製品 記憶装置関連機器、医療関連機器、通信関連機器、アミューズメント機器、事務機器、
半導体設備関連機器、火災報知機、等 各種筐体板金の設計・製造・組立

■主要設備 NCT (2台)、NCTレーザー複合機 (1台)、プレス (7台 60t~300t)、ベンダー (13台)、プレスプレーキ (8台)、NC付平板用タッピングマシン (2台)、NC付長尺パイプ用タッピングマシン (1台)、NCボーラ (2台)、シャーリング (1台)、コーナーシャ (1台)、長尺パイプ用切断機 (3台)、スポット溶接機 (25台)、NC付スタッド溶接機 (1台)、CO2半自動溶接機 (30台)、TIG溶接機 (10台)、CWレーザー溶接機 (1台 6軸)、溶接ロボット (12台)、天井走行溶接ロボットシステム20M (1台 ロボット4台)、ベンダー用マテハンロボット (1台)、三次元測定機 (12000x1300x1000)、自動倉庫 (2台)

■主要取引先 (株) 日立製作所、日立ハイテク電子エンジニアリング (株)、日立コンピュータ機器 (株)、(株) 日立インフォメーションテクノロジー、日立ピアメカニクス (株)、松下電器産業 (株) ヘルスケア社、富士ゼロックス (株)、東芝通信システム (株)、(株) タイトー、(株) バンダイナムコ、ネボン (株)、ホーチキ (株)、(株) セコニック、(株) 大栄製作所、アンリツ産機システム (株) 他エレクトロニクス産業関連企業各社

■社歴 昭和31年8月 創業 (東京都品川区)

昭和50年3月 工場等集団化事業に参加、金属プレス工業団地に本社工場を移転

平成7年 第13回神奈川技術開発大賞受賞

平成12年 第20回科学技術庁長官賞受賞

■特色 量産品はもとより多品種少量生産の時代ニーズに対応すべく、開発段階から「物作り」のノウハウと生産設備、特許「角パイプ一筆書き工法」の利用により、ベストなQCDの製品をご提供致します。





株式会社 清 富 士

- 代 表 者 代表取締役 島軒 鐸朗
- 本社工場 神奈川県伊勢原市鈴川5番地
 電話 0463-93-0863(代表) FAX 0463-95-6851
 E-mail kiyofuji@olive.ocn.ne.jp
- 第二工場 神奈川県伊勢原市鈴川17番地
 電話 0463-93-0863(代表) FAX 0463-93-0867
- 第三工場 神奈川県伊勢原市鈴川5番地11
 電話 0463-93-0863(代表) FAX 0463-93-3016



- 資 本 金 30,000,000円
- 従 業 員 75名
- 業 種 各種プレス加工、精密金型設計製作、精密板金加工組立、洗浄
- 主要製品 OA機器部品、PC及びPC周辺機器部品、各種精密板金加工品及び部品、各種組立品、電子機器部品、空調機器部品
- 主要設備 〔プレス部門〕400 t 1台、200 t 4台、110 t 2台（トランスファーユニット付）、160 t 1台、150 t 3台、110 t 6台、他5 t ~80 t 16台、RYロボット4台、供給ロボット（G50）14台。〔金型部門〕マニシングセンター1台、ワイヤーカット2台、放電加工機1台、治具フライス2台、平面研磨盤2台、成形研磨盤他。〔板金部門〕T.P.Pシステム3台、各種ベンダー5台、各溶接機19台他。〔品質管理部門〕三次元測定機2台、硬度計、他各検査治具。他に全自動洗浄機2台、自動倉庫、生産管理システム（本社・工場間オンライン）
- 主要取引先 キヤノン及びキヤノン関連各社、ソニー関連各社、東芝関連各社、山武、小田原機器他
- 取引銀行 三井住友銀行伊勢原支店、商工組合中央金庫川崎支店、横浜銀行伊勢原支店
- 経 歴 昭和29年12月 東京都品川区において創業
 昭和49年06月 工業等集団化事業に参加して金プレ工業団地に全面移転
 昭和54年09月 同団地内に第二工場を建設
 平成17年11月 同団地内に治工具工場を開設
 平成17年12月 同団地内鈴川5番地11、精密板金専門工場を買収
- 特 色 1.金型設計製作からプレス加工、組立までの一貫作業。精密板金加工。
 1.プレス加工50年、トランスファー加工35年の実績。
 1.精密プレス加工（トランスファー加工、順送加工、ロボット加工、単発加工）、高精度の金属部品加工を得意とする。
 1.洗浄設備。
 1.新しい加工方法への挑戦



精密板金工場



本社工場



成幸工業株式会社

- **事業内容** 精密機械加工を基本に、NC自動機、NC旋盤、マシニングセンター
内外径研削盤等を使用し、防衛機器、航空宇宙関連機器、光学機器、半導体実装機器、
の製造、（量産及び試作、VE提案を含め設計から提案）
映像機器システム設計開発、医療機器用画像処理システムの設計開発及び製造像販売
- **代表者** 代表取締役社長 野中啓孝
- **資本金** 3,000万円
- **従業員** 68人
- **創業** 1962年 設立 1965年
- **事業場所** 本社 〒245-0016 横浜市泉区和泉町3984
TEL 045-802-5214
FAX 045-801-0033
URL <http://www.seiko-kk.co.jp>
E-mail general@seiko-kk.co.jp

伊勢原第一工場 〒259-1146 伊勢原市鈴川7番地 TEL 0463-93-0848
(伊勢原鈴川金属プレス工業団地内) FAX 0463-94-6525
伊勢原第二工場 〒259-1146 伊勢原市鈴川17番地 TEL 0463-92-0592
(伊勢原鈴川金属プレス工業団地内) FAX 0463-96-4879
秋田工場 〒010-1653 秋田市豊岩小山下モ田452-3 TEL 018-828-0611
FAX 018-828-0614
- **主な得意先** 横河電子機器 日本トムソン(株) 日本ギア工業(株) JUKI電子工業(株)
シャープ(株) (株)日立製作所 日立ハイテクトレーディング(株)
日立メディコ(株) 富士通機電(株) 古野電気(株) 他
- **取引銀行** 三菱東京UFJ銀行 商工組合中央金庫 みずほ銀行 三井住友銀行 横浜銀行 秋田銀行
- **品質管理** ISO9001 取得済
- **当社の特色** 先端設備を使い、当社独特の人的技術力でVE提案を含めお客様のあらゆるニーズに応えられるようにしています。



日立精機 スーパーハイセル



東京精密 CNC三次元座標測定器 RVA-A

SANNO

株式会社 山王

The technology to support an electronic nation :
a duty Sanno gladly bears.

Sanno: The leader in precious-metal surface
processing

貴金属表面処理加工分野の

リーディングカンパニー

*Sanno, the leading company
of precious metal surface
inishing field.*

日本経済を支える重要な電子分野の一翼を担っているのが、我々です。
日々進化する技術は、まるで生き物のようであり、目覚ましい成長を遂げています。
環境にやさしい物作りをモットーとし、社会に貢献する事も心がけ、次なる挑戦へ
立ち向かっています。



代表取締役	荒巻芳幸
資本金	460百万円
従業員数	412名
主要製品	電子部品の貴金属めっき 精密プレス加工

■本社/Head Office

〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東5丁目8番8号

営業 TEL. (045) 531-8241 (代表) FAX. (045) 542-0906

総務 TEL. (045) 542-8241 (代表) FAX. (045) 544-0088

製作 TEL. (045) 542-8277 (代表) FAX. (045) 546-3141



横浜工場/Yokohama Factory

TEL. (045) 542-8277

郡山工場/Koriyama Factory

TEL. (024) 944-2333

東北工場/Touhoku Factory

TEL. (024) 963-0330

鈴川工場/Suzukawa Factory

TEL. (0463) 96-0066

秦野工場/Hadano Factory

TEL. (0463) 83-2891

S P M C / Philippines Factory

TEL. 63-46-433-0117

山王電子/China Factory

TEL. 86-510-8520-0088



<http://www.sanno.co.jp/>



株式会社

竹内型材研究所

- 事業内容 1. 金型用材料、標準金型部品、特注金型部品、及びユニット製造販売
2. 金型製作機器及びプレス関連機器の販売

■代表者 代表取締役 内山俊樹

■資本金 2,000万円

■事業所 本社及び工場 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川6 (金属プレス工業団地内)
TEL 0463-93-7771 FAX 0463-92-2562
Email:mast@sweet.ocn.ne.jp URL:http://www2.ocn.ne.jp/~mast/
仙台出張所 〒982-0817 宮城県仙台市太白区羽黒台2-16
TEL 022-244-3166 FAX 022-244-3167
甲信越出張所 〒400-0226 山梨県南アルプス市有野4092-1
TEL 055-280-0051 FAX 055-280-0052

■所属工業会 社団法人 日本塑性加工学会(冷間鍛造分科会)
関連団体 社団法人 日本金属プレス工業協会
神奈川県金属プレス工業協同組合
日本金型部品工業会
型技術協会

■主要納入先 精密機器メーカー各社
電気機器メーカー各社
輸送用機器メーカー各社
機械メーカー各社
その他製造業 (約450社)

■当社の特色 当社は金型部品、ならびに金型用材料を塑性加工業界に供給し、ご活用いただけるユーザーの発展に結びつくよう協力することを目的とし、より高精度・高速化に対応すべく、高品質部品を標準化し、短納期で供給しております。
当社の主たる製品は下記のとおり独自製品として、より耐久性に富んだ「マスト精密ガイド系部品・・・写真①」や「各種ハードプレート(最適熱処理済の研削プレート)・・・写真②」などを取り揃えて即納供給しております。
また、ユーザーニーズに応じて特注品を一品製作から短納期で速納いたしております。



写真①



写真②

株式会社 進士製作所

- 事業内容 ①抵抗器用端子、コネクタ用端子、連鎖状圧着端子
②電算機部品、複写機部品、音響部品
③プレス金型製作／各種試作品製作
④プレス加工及び組立付帯する事業
- 代表者 代表取締役 進士 剛廣
- 資本金 1,000万円
- 事業所 本社及び工場 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川6（金属プレス工業団地内）
TEL 0463-93-0872 FAX 0463-94-9401

東京営業所 〒146-0082 東京都大田区池上2-9-2-401
TEL 03-3755-8034
- 主要納入先 日本端子株式会社 株式会社オーイズミ ヤギシタ電機株式会社
オイレス工業株式会社 三光工業株式会社 アイクレックス株式会社
その他製造業
- 会社概況 昭和27年7月 個人企業 進士製作所として（プレス金型及びプレス加工）創業。

昭和32年11月 有限会社 進士製作所を設立、個人企業を合併する。

昭和46年6月 本社を神奈川県川崎市に移転。

昭和49年1月 有限会社より株式会社に組織変更。社名を株式会社進士製作所。

昭和49年6月 神奈川県伊勢原市に在伊勢原工業団地内に本社及び工場移転。

平成18年5月 ISO 9001：2000品質マネジメントシステム国際規格取得。

- 当社の特色 当社は、自動車、電気製品等に装備される端子をはじめとした、金属材料を主材料とするプレス加工品の製造メーカーとして1957年（昭和32年）創業以来、堅実経営により、社員の豊かな生活の向上と、社会の貢献をモットーに成長してまいりました。これもひとえにお客様をはじめ、取引関係企業様のご支援の賜物であり、社業発展のため「かけがえない地球環境」を未来へ引き継ぐため、環境配慮した事業活動と経営の「質」の向上を行うように努めています。



オリテクノ株式会社

■代表者 代表取締役社長 川島光雄

■所在地 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川6

■電話番号 0463(93)0870

■ファクシミリ 0463(92)4731

■資本金 2,300万円

■従業員数 12名

■業種 プレス加工自動化装置の組立

■主要製品 小型NCロールフィーダー、中・小型レベラー、中古プレス用自動機

■社歴 当社の前身である株式会社荏谷製作所は1961年（昭和36年）に設立され、1974年（昭和49年）6月に伊勢原工業団地へ移転、1981年（昭和56年）オリイ自動機株式会社（現在のオリイメック株式会社）と資本提携、2000年（平成12年）9月に名称をオリテクノ株式会社へ変更するとともに、それまで行っていたプレス加工部品、産業用ロボットの部品製作から、プレス加工自動化装置の組立、製造へと転換し新たなスタートをきり現在に至っています。

■特色 現在当社の社員は、オリイメック株式会社を定年退職したOBが中心となっており、プレス加工自動化装置について経験豊富なスタッフが揃い、その熟練な技能をもってプレス加工自動化装置の組立、配線、試運転を行っています。



《小型NCロールフィーダー「AFK」》



型 研 精 工 株式会社

■主要製品 各種精密プレス金型及び同部品、高速トランスファーシステム
金属プレス加工品

■代表者 代表取締役 濱田 一 男

■資本金 100百万円

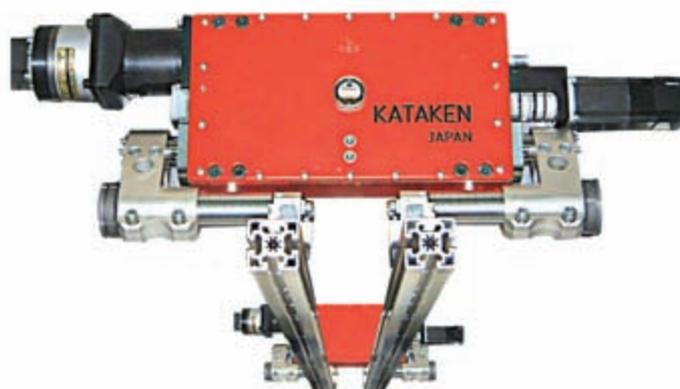
■事業所 本社及び 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川 6 1 番地 1
本社工場 TEL 0463-93-4811 (代表) FAX 0463-93-0830
URL <http://www.kataken.co.jp>
(本社工場) TEL 0463-93-1213 (代表) FAX 0463-93-6449

大分工場 〒873-0421 大分県国東市武蔵町糸原3113番地
TEL 0978-68-1177 (代表) FAX 0978-68-1354

鳥手工場 〒873-0421 大分県国東市武蔵町糸原2686番地2
(株ケーアンドケー) TEL 0978-69-0388 (代表) FAX 0978-69-0399

■経 歴 昭和50年12月 東京都武蔵野市吉祥寺にて創業
昭和54年 9月 伊勢原工業団地の集団化事業に参加、
本社工場移転
昭和58年 8月 大分工場建設
平成11年 7月 現在地に本社・本社工場新築・移転
平成12年 3月 「ISO9001」認証取得
平成18年 7月 「ISO14001」認証取得

■特 色 IT分野から特殊分野に至る精密金型技術の総合力
トランスファーシステムのリーディングカンパニー
(KTME、KTEⅡ、KTESシリーズ)



KTEⅡ-250L



KTES-100



株式会社 ムサシノ精機

■代 表 者 代表取締役 佐藤妙子

■所 在 地 神奈川県伊勢原市鈴川5番地
電 話 0463-94-9166 (代表)
F A X 0463-92-1909
E-mail KZ@musashinoseiki.com



■資 本 金 44,948,000円

■従 業 員 26名

■業 種 金型設計製作、金属加工プレス加工、機械加工等

■主要製品 精密自動車部品、事務用機器部品、電気部品、産業機械部品

■主要設備 自動プレス 6台、ロボットプレス 9式、トランスファープレス 2台、他プレス 4台、ワイヤー放電加工機 2台、マシニングセンター 3台、他工作機械 6台、三次元測定器 1台、CAD/CAM 3台、バレル研磨機 7台、他

■主要取引先 キーパー(株)、日本発条(株)、(株)ガスター、三木プーリ(株)、他

■取引銀行 商工中金川崎支店、りそな銀行伊勢原支店、中栄信用金庫伊勢原支店

■経 歴

1962年4月 川崎市で現会長 佐藤武二郎が金型及びプレス加工業として創業

1972年4月 株式会社ムサシノ精機と改名、資本金500万円とする

1974年6月 工場等集団化事業に参加し、伊勢原工業団地に移転
プレス加工の自動化開始

1980年3月 資本金1,120万円に増資
事務管理部門にコンピュータ導入

1984年9月 資本金4,490万円に増資

1992年9月 トランスファー加工の開始

1998年10月 代表取締役 佐藤妙子 就任

2003年5月 試作等小ロット生産対応短納期金型システム完成
絞りプレス加工の切削レス金型システム完成

2005年9月 I S O 9 0 0 1 認証取得

■特 色 金型設計製作から製品加工まで一貫生産しています。
てのひら大以下の部品に特化しています。絞り加工については
切削レスの研究及び試作等小ロット生産対応システムに力を入
れ、品質、納期、コストの3原則にチャレンジしています。



株式会社 横浜機械製作所

■代表者 代表取締役社長 今村 達

■所在地 本社・工場：〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川7番地
TEL:0463-94-9180,FAX:0463-90-1400
E-mail:mhiyokoki@nifty.com

横浜事務所：〒236-8515 神奈川県横浜市金沢区幸浦1-8-1
三菱重工業(株)横浜製作所金沢工場内 工作棟 3F
内線:9599,TEL:045-775-3075,FAX:045-770-1154

■事業概要 三菱重工業(株)横浜造船所（当時）の陸船用内燃機関部品の製造会社として設立されたが、現在は三菱重工業(株)横浜製作所並びに三菱重工関連会社の環境装置・産業機械の設計・製作、内燃機関の部品製作を主たる事業としている。
また、薬食品機械等三菱重工以外の客先への販売にも取り組んでいる。

■事業内容 ○環境装置、産業機械の設計・製作
○内燃機関、蒸気タービン部品の製作
○鉄構製品、立体駐車場設備の製作
○薬品機械、食品機械の設計・製作

■沿革 昭和9年3月 合資会社横浜機械製作所として設立
昭和18年7月 株式会社に改組
昭和41年2月 三菱重工業(株)資本参加、資本金1,200万円に増資
昭和49年5月 横浜市内より、伊勢原市伊勢原工業団地内に本社工場を拡張移転
平成6年6月 資本金3,000万円に増資

■資本金 3,000万円(三菱重工50%出資)
三菱重工の関連会社

■取引銀行 商工組合中央金庫川崎支店、横浜銀行伊勢原支店、三菱東京UFJ銀行本厚木支社

■従業員数 31名

■設備概要 NC横中ぐりフライス盤、
ミーリングセンタ、
立形旋盤、ラジアルボール盤、
バンディングローラ、
剪断機、TIG溶接機、
アーク溶接機、
20t天井走行クレーン 他



オリイメック株式会社

- 代表者 代表取締役会長 武田節彌
代表取締役社長 杉本誠夫
- 所在地 〒259-1198 神奈川県伊勢原市鈴川 6
- 電話番号 0463(93)0811
- ファクシミリ 0463(93)3102
- URL <http://www.oriimec.co.jp/>
- 資本金 149,125万円
- 従業員数 280名
- 業種 プレス加工自動化装置、精密ばね成形機、
FA機器ほかの製造、販売
- 事業所 本社（神奈川県伊勢原市）
川口事業所（埼玉県川口市）
埼玉、太田、豊田、名古屋、大阪、福岡ほか、全国13営業所
- 主要製品 コイルラインシステム、ロボットラインシステム、精密ばね成形機、
物流自動化装置、ガラス成形ラインおよび孔明機
- 親会社 株式会社名村造船所（資本金638,300万円、大阪証券取引所第一部上場）



- 社歴 当社はプレス用自動化装置メーカーであるオリイと、精密ばね成形機メーカーであるメックマシナリーが合併し、2000年（平成12年）12月に新生「オリイメック」として新たにスタートしました。母体であるオリイは、1962年（昭和37年）に東京都大田区で創業以来、プレス加工工程における安全性と生産効率の向上を追求しコイル加工ラインシステム、ロボットラインシステムを開発してきました。この高度な技術とノウハウを結集し、物流業界における高速化、高信頼性実現のための独自の物流搬送システムを開発。更には産業機械の防振などを目的にキャリセット・レベルパッドを開発するなど、数多くの製品を提供し、プレス加工業界を主に広く産業界の発展に寄与してまいりました。一方メックマシナリーは、1972年（昭和47年）に東京都千代田区で創業、精密ばね成形機のトップメーカーとして業界をリードし、その優れた技術力はさまざまなハイテク製品を支える「ばね」作りに貢献してきました。また2003年（平成15年）4月には名村造船所100%出資の子会社となり（両社とも合併前に株式会社名村造船所の資本参加を受けておりました）、名村企業グループとしてのスケールメリットを生かし、業容の拡充に邁進しております。



神奈川県金属プレス工業協同組合がある伊勢原工業団地へは1975年（昭和50年）に進出、本社事業所では当社の主力製品であるプレス加工自動化装置を主に開発設計、製造を行っています。現在は自動車関連の自動化装置は大型化が進み生産工場の関係上、同工業団地内に2005年（平成17年）本社第2工場を立ち上げ操業しています。

- 特色 当社の大きな特徴は、ユーザーニーズを先取りし、開発から設計・製造・取付・アフターサービスまで一貫したシステムが確立している点であり、伊勢原（本社および子会社：オリイテクノ(株)）、川口事業所、鳥取（子会社：オリイ精機(株)）および中国広州（子会社：広州欧立机电有限公司）の5生産拠点をもち、営業面では本社を除き13ヶ所の販売・サービス拠点を配置し、海外ではアメリカ・シンガポール・タイ・香港・上海に現地法人を開業するほか、各地に協力会社や代理店を設け、お客様に安心して当社製品を採用していただけるよう万全のネットワークを確立しております。
多様化するニーズを的確に捉えた確かな品質とサービスの提供は、高度な技術と豊富な経験、『お客様を大切に』という信念のもとに推進しています。



大新産業株式会社

■代表者 代表取締役社長 岩崎誠司

■本社・伊勢原工場 神奈川県伊勢原市鈴川5番地の6
電話 0463-94-9191 FAX 0463-94-4286

■阿見工場 茨城県稲敷郡阿見町大字福田字内野84-8
電話 029-889-1311

■宮崎工場 宮崎県児湯郡木城町大字高城4343-1
電話 0983-32-3988

■福島工場 福島県伊達市霊山町大字下小国字道割堂8-1
電話 024-586-3605

■大分事業所 大分県杵築市熊野1-111(大分キャノンマテリアル(株)内)
電話 0978-66-4145

■関連会社

宮崎ダイシンキャノン株式会社
宮崎県児湯郡木城町大字高城4308-1
電話 0983-32-2233

会社概要

■資本金 81,517,000円 ■従業員 257名

■業種 精密プラスチック部品成形、組立及び金型設計製作

■主要製品 OA機器・デジタルカメラ機構部品、レーザープリンターカートリッジ部品

■主要設備 射出成形機、旋盤、フライス盤、平面研削盤、放電加工機
マシニングセンター、ボール盤、三次元測定機等検査具一式

■主要取引先 キヤノン(株)、その他キャノン関係会社各社

■取引銀行 りそな銀行伊勢原支店 / 宮崎銀行東京支店 / 三菱東京UFJ銀行平塚支店 / 商工組合中央金庫川崎支店

■経歴

- 1964年 8月 東京都世田谷区にて創業。
- 1975年 4月 本社及び工場を伊勢原工業団地(神奈川県伊勢原市)に移転。
- 1980年 1月 キヤノン株式会社殿と合併で子会社ダイシンカメラ(株)を宮崎県に建設。
↓
現) 宮崎ダイシンキャノン(株)・・・1991年に社名変更
- 1981年 7月 阿見工場(茨城県)操業開始。
- 1984年 1月 宮崎工場操業開始。
- 1989年 4月 Canon Virginia,Inc.と South Tech,Inc.を合併設立。(米国バージニア州)
- 1995年 3月 福島工場設立。
- 1999年 12月 大分事業所開設。
- 2001年 9月 South Tech,Inc.の合併を解消。

■特色 OA機器、デジタルカメラなどの精密部品の金型設計製作から成形、二次加工及び組立まで、一貫して生産する総合プラスチック成形メーカー。





桐 栄 工 業 株 式 会 社

■業 種 金属製品製造業

■主要製品 圧着端子、コネクター。
自動車スタビライザ部品、半導体ソケット部品、化学触媒充填物部品
医療精密機器部品などの精密プレス加工

■代 表 者 代表取締役社長 松井紘彦

■資 本 金 8,000万円

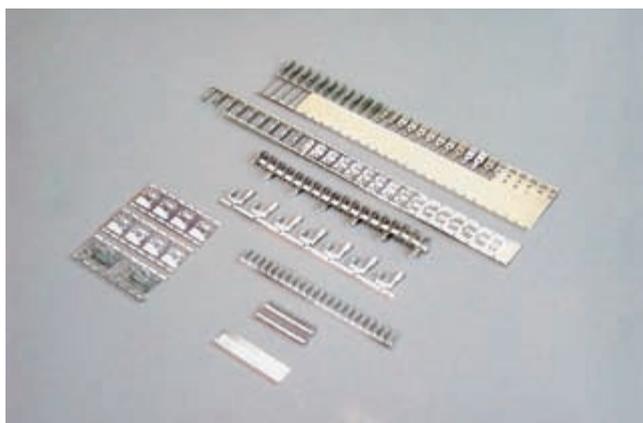
■従 業 員 数 47名

■所 在 地 神奈川県伊勢原市鈴川5番地
TEL 0463-93-0851 FAX 0463-94-7193
E-mail :eigyoku@doeikogyo.co.jp
URL:http://doeikogyo.ktpc.or.jp

■経 歴 昭和31年 10月 川崎市中原区に桐栄工業有限会社を設立
昭和49年 8月 伊勢原工業団地（金属プレス工業協同組合）に工場部門を移転
昭和58年 6月 米国AT&T社と技術提携 通信用モジュラコネクター
から電装用コネクター組立製造
平成14年 11月 社団法人日本金属プレス工業協会より安全優良事業所表彰
平成16年 10月 ISO9001・2000認証取得
平成18年 1月 神奈川県優良工場表彰

■所 属 団 体 社団法人 神奈川県工業協会常任理事
社団法人 神奈川県産業貿易振興協会理事
神奈川県金属プレス工業会理事
神奈川県金属プレス工業協同組合監事

■当社の特色 当社は電子部品、自動車部品、半導体部品、化学・医療部品などの精密プレス加工を行っており、特に自動車電装部品に高い技術評価と安全、品質評価を得ております。
複雑なプレス加工を積極的に受注することにより、技術の向上を果かると共に、顧客が求める技術開発や試作品作りに、より早く対応するため、体制整備を行っております。



株式会社 本橋製作所

- 事業内容 1. 金型作成、精密プレス・板金
2. 機工品設計、製造組立
- 代表者 代表取締役 本橋一樹
- 資本金 1200万円
- 事業所 本社 〒211-0004 川崎市中原区新丸子東2-924
TEL 044-433-7751 FAX 044-430-1069
URL <http://www.mot-net.co.jp>
伊勢原工場 〒259-1146 伊勢原市鈴川5
TEL 0463-93-3121 FAX 0463-90-1030
東北工場 〒981-4415 宮城県加美郡加美町米泉字西原1-5
TEL 0229-67-7280 FAX 0229-67-7333



- 製造品目 プレス金型の設計・製作
電子機器部品の製造組立
通信機・事務機器用筐体
ルータースイッチの機工組立
通信機用各種UNIT SHELF
紙幣計算機用部品

- 主要納入先 株式会社日立製作所
日本電気株式会社
横河電子機器株式会社
グローリー工業株式会社
富士電機株式会社



- 当社の特色 築いてきた技術と信用が私たちの誇り……
当社は金属加工全般にわたり製造しております。大きさは時計の歯車大からデスク組立に至るまで、数量は少・中量品がほとんどで、バラエティーに富んだ注文をいかにスムーズに流すかという問題に日々取り組んでおります。当社の品質を支えるものは「加工技術」であり「管理技術」であると考えます。
「加工技術」とは当社だけの技術でなければできないものを、「管理技術」とは当社にまかせれば安心できるという取引先との信頼関係から成り立っています。反面、お客様の要求には絶対的に応えようの努力をしております。





ミツイ精密株式会社

■主要製品 HDD用プラスチック製品・HDD用金属プレス製品
 携帯電話フレキシブル基板用プラスチック製品及び金属プレス製品
 医療用プラスチック製品・各種コネクタ
 プレス用精密金型・射出成形用精密金型



■代表者 代表取締役 伊原静一

■資本金 3,000万円

■従業員数 150名

■事業所 伊勢原工場 神奈川県伊勢原市鈴川17番地
 TEL 0463-92-0105
 FAX 0463-92-0126
 本社工場 神奈川県厚木市愛甲1700番地1
 TEL 046-228-3642
 FAX 046-228-0331
 温水工場 神奈川県厚木市温水1947番地2
 TEL 046-294-3642
 FAX 046-294-3648



温水工場外観

■経歴 昭和49年5月 神奈川県秦野市にて金型製造販売を目的として有限会社ミツイ精密設立
 昭和54年5月 神奈川県厚木市に移転。プレス加工品製造販売開始
 昭和58年5月 精密射出成形加工、精密射出成形金型製造販売開始
 昭和62年7月 神奈川県厚木市愛甲1700番地1に本社及び工場移転
 平成11年5月 神奈川県伊勢原市に工場取得、射出成形専用工場として稼動開始
 平成13年1月 株式会社に組織変更
 平成14年3月 ISO9001：2000認証取得
 平成16年5月 神奈川県厚木市温水に工場新築。金型工場、プレス工場、表面処理工場として稼動開始



伊勢原工場 成形機ライン



温水工場 プレス機ライン

～ 記念誌の作成を終えて ～

昭和46年に産声を上げ、昭和51年に建設工事が完成してから、30年の年月が経過しました。

「十年一昔」のことばを借りれば、「3.5昔」前の時代です。最近は「一年一昔」といっても良い位のスピードで、時間が経過します。

その間、組合員の皆様は厳しい経営環境に直面し、様々な困難に苦労を重ねられ、無事今日を迎えられました。

創立15周年の記念誌を発行してから、早20年が経過し、組合を取り巻く環境も変化し、事務局の仕事も様変わりし、事務局担当者も交替しました。

記念すべき35周年を迎え、20年振りの記念誌発行が決定し、経験もない中、手探りで作業を進めました。

日頃ご指導いただいている神奈川県、伊勢原市始め関係各機関のご配慮をいただき、また組合員各社のご協力を得て、よろめきながら、何とか完成いたしました。

反省ばかりが目立つ内容ですが、35周年を機に組合が歩んできた過去をひもとき、組合および組合員相互の今後の飛躍の一助になれば幸いです。

今後とも組合員の皆様のため、微力ながら事務局の務めを果たし、全力を尽くす所存です。

関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

(事務局 西川)

